

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員のが指導訓練室等、充分スペースの取れる施設となっております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			人員基に達する配置となっております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		入口の靴を脱ぐ場所に少し段差はありますが、中は段差がなく過ごしやすい空間となっている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			業務に関しては各役割事週1度会議を行い、先週の振り返り改善や今週の目標について話し合いを設けています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今年初めて保護者に対し評価を実施。たくさんの方のあたたかいお言葉を頂き、今後より一層利用者様 保護者様に対して満足頂けるよう支援を行い、各職員専門知識を充実させるよう務めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			初めての評価表実施のた1月中旬にホームページに公開致します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	評価機関を検討しているため、後日報告致します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			入社時に代表より社内研修を行い、入社後管理者より、専門研修とメンタリング研修を定期的実施しています。また外部研修にも積極的に取り組んでいます。
適切 な 支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントは1時間以上保護者様からおさまの成育歴 困りごと 得意なことなど詳しくお話を聞き、保護者様と一緒に課題を考え、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを使用し、事前にS-M社会生活能力検査を保護者様に実施。生活年齢も把握しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラムミーティングを行いながら、次の月にどんなプログラムを行いたい話し合い登所予定を決定しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			人気のあるプログラミングについては週一度行いますが、それ以外のプログラムは全て代えお子さま達がより成長できる取り組みを考え実行しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は一つのプログラムを行いますが、祝日 長期休暇については時間が長い為、午前と午後に分けてプログラムを行い個別と集団のメリハリをつけ支援を行っています。

支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		施設での様子と保護者様との話し合いにより、個別と集団を組み合わせた計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼で必ず前日の申し送りと、改善案、本日の内容 ご利用様の状態について職員で話し合いをし、実行しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		送迎終了後、保護者様からのお話や忘れ物等について、職員共通LINEに報告し、施設到着後、大切なお話は再度口頭で職員に周知させています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々支援の記録に対してはリタリコに入力、保護者様に対しては連絡帳に記録をしています。また翌日の朝礼で支援検証 改善を職員で話し合いお子様達が笑顔で過ごせるよう、取り組んでいます。
	18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月に一度モニタリングを行い、事前に児童発達支援計画会議を行い職員からの、声を聞き計画を見直し、保護者様にもその旨を伝え同意のもと新しい計画書を渡しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		自立支援と日常生活の充実をするプログラムを行い、創作活動 余暇の提供にも力をいれ支援しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	対象となるお子さまが現在いないため、今後対象のお子さまがある場合は担当職員に会議へ出席してもらいます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		各学校の担任の先生と学校への送迎の際に学校での出来事を聞き、放課後等デイサービスでは個別支援計画とS-M社会生活能力検査を説明し渡しています。また送迎やトラブル発生の際は、担任の先生に速やかに連絡。連携を取り今後も努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在対象となるお子さまがいませんが、今後のために市の研修等積極的に参加し、専門知識を学んでいきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	現在対象となるお子さまがいませんが、今後必要なお子さまがいる際は情報共有していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現在対象となるお子さまがいませんが、今後必要なお子さまがいる際は情報共有していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		発達センターと関わるお子さまがいましたので、連携を取り施設の内容など共通理解を持って頂き電話や直接会ってお話させて頂き助言をもらい役立てました。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	現在コロナ禍もあり外部との交流は控えていますが、環境に敏感なお子さまもいるため今後も慎重に考えていこうと思います。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		今年支援協議会のこども部会に加入し、積極的に会議へ参加しました。今後も富士市のお子さまのために、力になれると考えます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日ごろ保護者様に対し、連絡ノートで様子をお伝えし、帰りの送迎時により詳しく様子や出来事をお伝えします。また気になる問題がある際は管理者電話で相談内容をお伝えし、理解に努めています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		発達障害のお子さまには特性に応じたアプローチが必要なため、ABAを中心とした行動理論を保護者様にも説明。その後指導方法を聞いたうえで保護者様がお子さまに実践し、成功しましたとお話を聞いています。今後も家族支援に取り組んでいきます。	

保護者への説明 明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の際に管理者が説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		子育ての悩み等があった場合、まず直接詳しいお話を聞いています。問題解決するよう一緒に考え必要な場合は助言し、支援を行います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		プログラムの際に親子参加型を定期的に行い、年末には保護者相談会を実施。保護者様同士が様々なお話をしました。今後も保護者様同士の話せる場になるよう取り組んでいきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情等の内容確認をし直接伺いお話を聞く。上に報告。内容によって持ち帰り設頂き職員でミーティングを行い、速やかに対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月ハッピーエンジェル通信を発行、SNSを活用、毎日ハッピーエンジェルの情報を発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報に関わる資料は書庫に入れ、職員にも取り扱いについて周知しています。また保護者に対しては契約の際に説明しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		説明する際に口頭だけでなくお子さまには絵カード、保護者様には文字にして視覚的に用いお話をしています。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		こども食堂を開催し、地域の方を招待したり、イベントに関しても回覧を使い、ハッピーエンジェル通信を配布し発信しました。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各マニュアルについては職員で読み合わせし、保護者様については契約の際にマニュアルを見せ説明しました。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難訓練を実施、救出については市の緊急時対応の研修に参加学びました。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		施設内で研修を実施。お子さまに対し適切な対応に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	○	現在対象となるお子さまがいないため、今後対象になるお子さまがいる際には放課後等デイサービス支援計画に記入して、保護者様に説明していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		食物アレルギーについてはアセスメント、契約でも書面で説明、同意書を記入して頂いています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットは日々の大小関係なく怪我や危険な場面など職員で情報共有し、用紙に記入しています。